



中川 弓子

三木 ゆかり

あなたの力を保育の現場に！

子育て支援員

皆さんは、「子育て支援員」をご存じですか。これは、保育や子育て支援を充実させるため、平成27年にできた新しい資格なんです。どうやって資格を取ることができるのでしょうか？今回は、子育て支援員研修（地域保育コース）について紹介します。

▽問合せ こども課（☎767・7477）

保育士をサポート「子育て支援員」

「資格はないけれど保育の仕事ができないかな？」「私も子育て支援に関われないかな？」などと思っている人はいませんか。そんな人におすすめなのが、子育て支援員です。

子育て支援員は、子どもたちとの散歩や食事の補助など、保育士だけでは手が回らない部分をサポートします。

町内でも保育士不足が問題に

共働き家庭やひとり親などの増加によって、保育の需要が高まり、保育士不足が社会問題になっています。これは、町内の保育施設

設も例外ではありません。慢性的な人手不足で、先生たちが困っている状況にあり、子育て支援員が必要とされています。

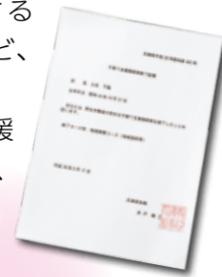
いろいろな「想い」から 子育て支援員に

保育の仕事がしたいという人だけでなく、「子どもが好き」、「子育ての経験を活かしたい」、「地域で何かお手伝いがしたい」という人にも、ぜひ子育て支援員に興味を持ってもらえればと思います。特別な条件や年齢制限はないので、子育て支援員研修を受講すれば、どなたでも子育て支援員の資格を取得することができます。

講義は全部で8日！

子育て支援員研修 ～地域保育コース～

- ◆講義会場は主に神戸市内です
- ◆テキスト代、交通費は自己負担ですが、受講料は無料です
- ◆子育て支援員として働くために必要な知識の講義と、心肺蘇生法や希望する地域の保育施設での見学実習など、25項目の専門研修があります
- ◆研修が終わると、「子育て支援員研修修了証書」が交付され、全国で子育て支援員として働くことができます



6月10日までに申し込みを！

本年度の研修は、7月下旬から9月中旬に開講予定です。

6月10日までにこども課に備え付けの申込用紙（ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、同課まで。
※詳細はホームページ



受講者にインタビュー

楽しく保育を学びました！



野村 敬子さん
(令和元年度受講)

保育の資格や経験はなかったのですが、子育てがひと段落して「子どもに携わる仕事がしてみたい！」と思い受講しました。

研修には、同世代から年配の方まで、幅広い年代の人たちが参加していました。講義は、保

育の知識がない私でもわかりやすい内容で、楽しく学ぶことができました。

今後、条件に合う求人があれば、子育て支援員として働きたいと思っています。



保育の仕事ならではの経験を



猪名川保育園
土谷 千晶 園長

保育の仕事をしていると、なによりも子どもたちの笑顔に癒されます。保育施設の職員は、保護者に替わる存在になるため、当然、責任が伴います。それ

でも、子どもの成長を保護者と一緒に喜ぶことができるなど、やりがいのある職業です。

子どもや保護者には、「笑顔で遊んでくれる元気な力」や「ゆっくりと見守り、時には子育て経験を活かしたアドバイスをくれる人生の先輩」など、いろいろな世代の人との関わりが必要です。

ニュースなどで、保育士不足について取り上げられることもあります。猪名川保育園においても同様であり、人員確保には苦慮しています。子育て支援に関心のある方は、ぜひ研修を受けていただき、保育の現場で働く仲間になってもらえたら、嬉しく思います。

～編集後記～

子育て支援員の力は、今の保育に欠かせないものなんですね。思い切って挑戦すると、楽しみやお仕事につながるかも！

子育て支援員研修は年に1度ですので、ぜひこの機会に申し込んでみてください！